

町田通勤寮だより

NO 89 2021年11月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

巻頭言

寮長 三階 広明

「Withコロナ」・「新たな生活様式」と言われる中で二回目の年末・年始を迎えようとしています。皆さんの日常はいかががでしょうか？

通勤寮としては利用者さん個々の状況を踏まえた「制限緩和」をスムーズステップで進めています。世の中と同じで「変異株のこともあって少し不安だけど自分は大丈夫でしょ」的な雰囲気が増えているように感じます。継続して感染拡大防止に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

昨年は中止となった忘年会・成人を祝う会を、今年は内容を一部変更して実施いたします。昨年は利用者の皆さんからは「楽しみが一つもない」等の声がありました。感染拡大防止には十分な配慮をしての実施となります。成人を祝う会ではこれまで参加いただいていた保護者の皆さんの参加を中止とさせていただきます。大変申し訳ありませんがご理解をお願いします。

現在「福祉サービス第三者評価」を受審しています。これは、「利用者調査」と「職員の自己評価」を基に、サービスの向上を目的として行うものです。管理者は「経営層」としての自己評価もあります。PDCAサイクルに基づいて、自らの業務遂行について振り返ることのできる貴重な取組です。なかなか思うようにはいきませんが、今後も真摯に取り組んでまいります。東京都福祉保健局のホームページにこれまでの分を含めて公開されていますので、可能な方はご覧いただき、ご意見をいただければと考えています。

「変異株」が確認され、その感染拡大が危惧されていますが、新年が皆さまにとって、心落ち着ける素晴らしい年となることを祈念しております。

見学・体験利用について

主任支援員 武智 里峰

通勤寮入寮するにあたり、手順があります。皆さん、ご存知ないかと思いますので、改めてご紹介したいと思います。

一、通勤寮に直接連絡頂き、見学の日程を決める。直接ご本人から連絡もあれば、そのご家族、他：支援学校や就労支援センターや行政等から連絡を受ける場合もあります。

二、見学の際、通勤寮がどんな所で、どんな支援をご本人が受けるか…、ご説明します。

三、通勤寮を利用してみたい…、と思えば、『体験入寮』となりますが、その前に、アセスメント面談をします。※このアセスメントは、ご本人・ご家族、関係機関など、ご本人について情報収集し（ご本人の特性や性格等）、書面上ではありますが把握しておきます。

四、ここでやっと『体験入寮』となります。期間は2～3週間、利用

発達障害の理解と基本姿勢について

副主任支援員 川瀬 朝日

していただきます。特に支援学校の生徒さんは、3年生最後の実習に合わせて体験をしていただく事が多いです。その方が、実際入寮してから仕事に行くシミュレーションができ、ご本人も通勤寮の生活と出勤へのイメージが付きやすいからです。既にお仕事されている方は、ご本人のタイミングに合わせて体験していただきます。

体験中も、個別支援計画を作成し目標・支援内容の確認、そのプログラムに合わせた支援をします。体験終了時、モニタリング面談。何が今後の課題か？等、振返ります。勿論、体験したご本人の率直な感想や、ここでも2年間自立の為に生活できるか等、時間をかけて面談、その後、支援会議でも協議した後、本入寮という形になります。

通勤寮の利用状況ですが、2年程前から定員を下回る状態でしたが、今年度は更に下回ってしまう状況。その一つの大きな理由としまして、部屋が2人部屋だから…という所で入寮を考慮してしまっている…というお言葉を何件か聞いています。

ここ最近、2人部屋に念願のパーテーションが設置され、やっと最低限の個人のプライバシーが守れる状態となりました。

見学に来られた方も、そのパーテーションを見て、『これがあれば…』と言ってくくださる方もいらっしやいましたし、パーテーションとは別に、そろそろ通勤寮を考えてみようかなと思つて…という方の見学希望も何件ありました。

現在、月2・3件ではありますが、見学をご希望される方もおり、体験↓本入寮という形で、少しずつではありますが、定員が埋まりつつある状況です。

まだまだ定員に満たない状況ですが、今後も小さな種まき…して行こうと思います。

11月4日に支援員を対象に内部研修を行いました。テーマは発達障害の理解と基本姿勢についてです。当日は、東京都発達障がい者支援センター(TOSCA)センター長の坂田由紀子様を講師としてお招きし、講義事例検討という内容で進めさせて頂きました。近年、我々の事業所では発達障害をお持ちの利用者さんの支援で苦慮することが多くあります。具体的には、興味関心が次々と移り変わり、就労の継続が困難なケース、寮のルールや社会的ルールを守る事が難しいケース、また、それがなぜいけないのか「自覚」すること自体が困難なケース、都合のよくない物事に関して「自分は悪くない」「自分は今の環境にいるのは不本意。周りの大人たちに通勤寮に行かされただけ」等…、逆に一見問題なく生活しているように見え、実は適応しようとしすぎて限界を超えてしまい、心身共に支障をきたしてしまうケース等…。そういった方々の支援に当たって、少しでもよりよい支援に繋がられるようにという意図の元、今回のテーマで研修を組ませて頂きました。

結論、私としては、非常に多くの事を考えさせられた研修となりました。我々はもう少し柔軟に自立を考える必要がある事、社会的自立とは、発達障がいを持つ方にとつては、長期的な視点で継続した支援が必要であること、本人の強みや好きな事を活かした視点を持つ事…、日々の「しなければならぬ」の積み重ねの中で、いつの間にか思考停止していたことがいくつもあり、もう一度立ち返る必要があることを強く感じた研修となりました。

我々が提供するサービス(宿泊型自立訓練)は、有期限(2年)で就労・生活面での支援を行い、地域生活で自立した生活ができるようになることを目的としています。その中で、次の生活の場のために、ある程度の貯蓄

とのお金を得るための就労の継続が必要となります。勿論、それは自立の上で欠かすことのできない要素です。

しかし、次第にそれ自体が目的化、あるいは周囲から求められ、利用者さんをサービスの機能に当てはめてしまい、画一的な自立の在り方のみを押し付ける形になってしまいう事があります。利用者さんによっては、それを感じ取り、環境への拒否が生まれることに繋がっているのだと思います。これは事業所の役割とご本人が望む環境のミスマッチもあると言えますが、否応なくその選択肢（通勤寮）を突き付けられる、またはご本人が選択する上での判断基準自体がない上で、通勤寮を選択している という問題もあると思います。

本来自立とは複合的な要素の集まりです。利用者さんの特性、バックグラウンド等、自立の在り方、そしてそのゴールや到達時期は本来ひとり一人で異なります。この2年間も同様、それぞれの到達点は異なるし、必要な事は各々で異なり、それを受け入れて支援するという、根源的な視点にもう一度立ち返る必要があると、そんなことを考えました。

「その方を長期的な視点で見た時に、今必要な支援をすること」

「それは誰のための支援なのか を今一度考える事」
これらのことは常に念頭に置いて、これからまたやっていきたいと思えます。

ご多忙の中、講師を引き受けてくださった坂田様には今一度感謝申し上げます。ありがとうございました。

校庭開放活動

支援員 佐々木 宏典

毎月、第四土曜日に南成瀬小学校の校庭をお借りしてサッカーやソフトボール等、利用者の皆さんと身体を動かす活動を予定しております。

昨年の三月に私が担当となりましたが、新型コロナウイルスの影響・学
校行事による使用制限・悪天と今月まで一切活動ができておりません
した。通勤寮としては一年半ぶりの活動となります。今月の参加人数は三名
とそこまで多くない為、ペットボトルを使って簡単に体を動かすレクリエ
ーションを行い、その後ボールでパス回しをして遊びました。少し休憩を
いれ、みんなで「モルック」をやりました。正式な物ではなく、ペットボ
トルで作る、ソフトボールで倒しながら得点を競うゲームにしました。
やればやるほどの位置が変わり、点数を考えながら投げる必要がでく
るので、皆さんかなり熱中していました。ここ最近で体を動かす機会がな
かった為、とても楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。

次は一月に活動予定があります、次も「モルック」をやりたいとリクエ
ストがあったのでやって良かったです。少しずつ広めて通勤寮で大会を開
いても面白いかなと考えております。



調理実習

調理員 高橋 典子

10月10日に調理実習を行いました。

「秋に楽しむ旬の味覚、旬の食材を使った料理」と題して、秋なすの煮・さつま芋のお味噌汁・秋野菜と豚肉の炒め物・きのこの炊き込みご飯の4品を作りました。今回は、利用者さんの「肉野菜炒めを作りたい。」というリクエストにお応えしました。参加者は5名で、2名が初参加でした。初参加の方も今まで調理した経験があり、スムーズに出来ました。

秋なすの煮物は、格子状に切り込みを入れましたが、とても上手で感心させられました。

さつま芋の味噌汁は、具が3種類の根菜(さつま芋、大根、人参)でしたが、包丁も上手に使い、加える油揚げの油抜きもしっかり出来ました。

秋野菜と豚肉の炒め物は、レンコン・じゃが芋・オクラの下茹でして使ったので手早く調理が進み色鮮やかな仕上がりになりました。

きのこの炊き込みご飯は、お米を洗いザル上げし、きのこは手でほぐし楽しみながら作れました。盛り付ける食器は、利用者さんが選び、センス良く盛り付けが出来ました。皆さん自分で作った秋の味覚にあふれた料理を堪能していました。

次回、調理実習は、12月に「寒い冬には、温まる料理」と題して行う予定です。皆様のご参加お待ちしております。



完成です！！

食事提供への思い Q&A

支援員 石田 順子

日々、利用者の皆さんへ食事を提供していくにあたり、イベントメニュー(行事食・誕生日メニュー等)の提供と2ヶ月に1回、調理実習を行っています。どのような目的で提供しているのでしょうか…。また、今年度から各調理職員の得意料理をイベントメニューとして取り入れました。取り入れた経緯等も含めてQ&Aでお届けします



Q：調理実習の目的とは何ですか？

A：毎回参加者を募り、リクエスト等にも応じながら、料理・食材・栄養等の学習をし、今後の生活に役立てていく事を目的としています。

Q：炊飯実習とは、どんな事をするんですか？

A：11月から3月に毎年実施しています。夕食に食べるご飯を通勤前にセツトする。1合の炊きあがり分量を体感してもらおう為です。

Q：行事食って何ですか？

A：季節感を盛り込みながら献立表で案内しています。

Q：誕生日メニューの献立はどう決めていくのですか？

A：2ヶ月に1度実施します。誕生月の方にリクエストをいただき、献立に反映します。毎回、盛りだくさんになりますね（笑）

Q：イベント料理って何ですか？

A：夕食に麺の献立や流行りの料理を取り入れます。例えば、バターチキンカレー・ホットサンド・メロンパン風トースト等。今後、お店の再現メニュー等をやってみても面白いかも（笑）今年度は、調理職員の得意献立を取り入れています。

Q：調理職員の得意献立を取り入れたきっかけがあれば教えてください。

A：普段は決められた献立を調理員さんによって貰っていますが、時には自分の家庭の味やご家族に人気な献立・自信のある一品を作って貰っても良いかなって思い、イベント的に取り入れてみました。調理員さんの事柄御知って貰える良いきっかけづくりになったと思います。

行事食 紹介



11月麺メニュー



ルーロー飯



パスタフェア



10月麺メニュー



ネギチャー
シュー丼



カレーフェア



自身の一
品
上:10月 下:11月

ハロウィン
メニュー

上:お誕生日プレート
下:モンブランケーキ

今後の主な予定

11月25日(木) 就労講座

12月4日(土) 忘年会

1月16日(日) 新年会・成人を祝う会 (状況により変更有り)
保護者会はお休み。

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかかわ学園公式HPよりご覧になれます。